

SanRex

LEADING THE NEW POWER ELECTRONICS ▶▶

第87期 株主通信 2020.04.01 — 2021.03.31

Global Power Solution Partner

新中期経営計画「CG23」が始動

株主の皆様の声 を お聞かせください

株主の皆様との対話のため、Webアンケートを実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度で、アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 6882

いいかぶ

検索

 空メールによりURL自動返信

kabu@wj.m.jpへ空メールを送信してください。
(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



※本アンケートは、株式会社 a2media (エー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

三社電機グループは、社会とともに持続的な成長と発展に向けた取り組みを推進します。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、取引先による設備投資の延期・見合わせなどに影響する結果となりました。このような状況のなか、当社グループは、新たな取引先・用途の開拓による販売機会の獲得に注力するとともに、外注政策の見直しなど原価の低減、全社をあげた経費抑制に注力してまいりました。

当連結会計年度の業績は、売上高は前期比11.2%減少の194億円となり、収支改善の取り組みにより、営業利益は前期比62.4%増加の4億円、経常利益は前期比81.4%増加の4億円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、遊休資産の売却による特別利

益を計上したこともあり、4億円となりました。

今後も、当社グループの技術を最大限に活用し、グローバル目線で「脱炭素社会」へ貢献するとともに、安心・安全な製品・サービスを提供してまいります。

株主の皆様には今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

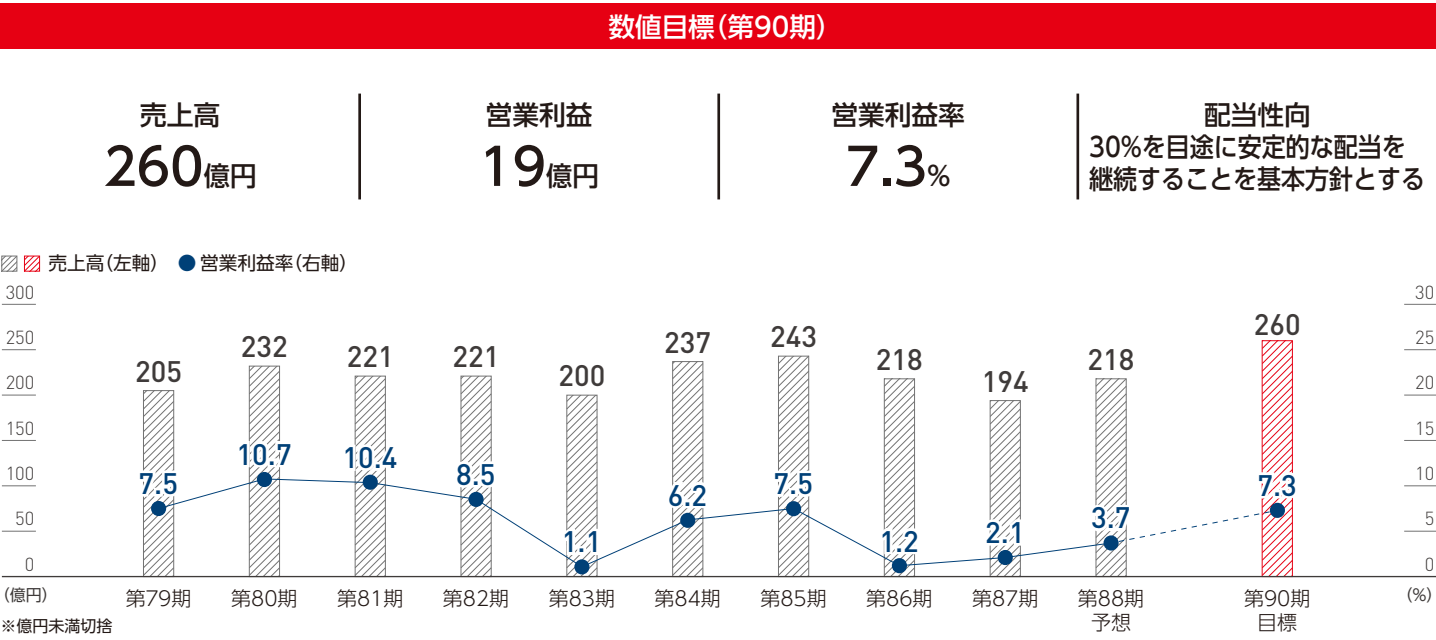


代表取締役社長 吉村 元

新中期経営計画



三社電機グループの経営理念「社会に価値ある製品を」のもとに、「社会課題解決に貢献」「持続的な成長に向けた変革」の2つの基本方針を掲げ、重点施策を推進してまいります。また、電力変換・制御技術を生かした製品の開発を通じて、エネルギー効率の改善、再生可能エネルギー、気候変動などの社会課題の解決に貢献することでサステナブルな社会の実現と当社グループの成長を目指します。



前中期経営計画の振り返り

前中期経営計画では、「グローバル展開」・「新規の事業領域への展開」・「既存の事業領域の深耕」・「事業基盤強化」の4テーマに沿って取り組み、燃料電池評価用パワーコンディショナーの開発、パワー半導体トランスファーマールドのラインナップ拡充、無停電電源装置(UPS)の拡販に努めました。名古屋市・金沢市に拠点を開設し、サービスネットワークの充実を図りましたが、米中貿易摩擦・新型コロナウイルス感染症の影響による顧客の設備投資の減少など、厳しい事業環境が続き、業績目標は未達となりました。

新中期経営計画の3年間での主な取り組みテーマ

半導体事業

高耐圧、高効率、高信頼性の追求でシェアアップを目指す
新商品・新用途の展開

- 高性能領域へ展開
- CO₂排出量削減に貢献できるよう、低リーク電流・低損失、低環境負荷をコンセプトとしたラインナップを拡充
- SiCパワーモジュールのラインナップを充実

スマートファクトリーを目指す

- 生産ラインの自動化設備の導入
- 生産工程管理の自動化、見える化の推進
- 部材の標準化、設計の効率化
- 原材料調達ならびに在庫管理の仕組みを再構築

電源機器事業

新エネルギー等成長分野の拡大と基盤分野の強化
水素・新エネルギー、環境分野の拡大

- 水素ビジネスに関連する事業での電源装置の受注獲得へ
- 燃料電池・蓄電池用パワーコンディショナー開発
- 高精度電力変換技術で性能試験・評価用電源の事業確立

基盤分野の強化

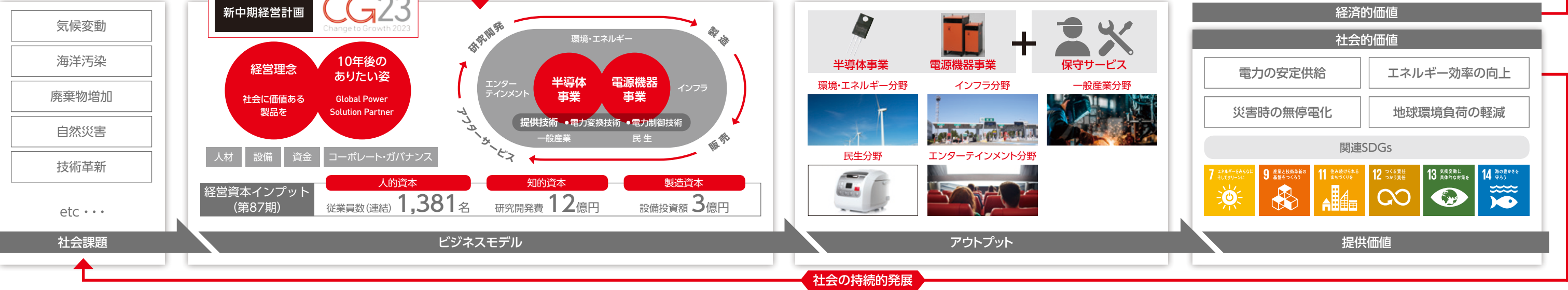
- 一般産業用大型電源:素材産業向けの電源開発
- 表面処理用電源:電子部品関連の需要を見込み、新製品の開発
- 無停電電源装置:保守・サービスの拡充と、シェアアップを目指す

ソリューション提案力の強化

- 蓄電池やネットワーク機能などを組み合わせたシステム提案を推進
- 保守サービス体制を整備し、顧客リレーションシップを強化((株)三社ソリューションサービス)

中容量機種へ事業領域を拡大((株)諏訪三社電機)

三社電機グループの価値創造



≡ 第87期の主なトピックス ≡

モジュール式表面処理用
直流電源に水冷モデルが新登場

モジュールを組み合わせることにより必要な電流が得られる「モジュール式表面処理用直流電源『MRMシリーズ』」に新たなラインナップとして「水冷モデル」が加わりました。

車載用電池の
評価用電源を開発

近年、自動車メーカーでは電気自動車や燃料電池車の普及を目指し、車載用電池の試験および模擬用途の電源需要が増しているなか、当社は、高精度評価用電源を開発いたしました。

経済産業省
「ゼロエミ・チャレンジ企業」に
選定されました

2017年から経済産業省の「需要家側エネルギーリソースを活用したバーチャルパワープラント(VPP)構築実証事業」に参画してきたことが評価され、「ゼロエミ・チャレンジ企業」に選定されました。

パワー半導体SiC-MOSFET
モジュールのラインナップ拡充

小型かつ長期信頼性に優れたトランスファーマールド※パッケージを採用したSiC-MOSFETモジュールに新たに100アンペア品を追加し、お客様の幅広いご要望にお応えできるようになりました。

※トランスファーマールドとは、熱硬化性樹脂の成形法の一つで、材料を加熱して軟化させてから金型へ圧入することで成形加工する方法です。

諏訪三社電機に
社名を変更しました

諏訪三社電機

三社電機 イースタン

子会社の株式会社三社電機イースタンは、2021年4月1日に「株式会社諏訪三社電機」に社名変更いたしました。これからも長野県諏訪の地から、新しい製品開発にチャレンジし、社会の発展に貢献してまいります。

海外展示会に出展



コロナ禍で多くの展示会が中止されるなか、当社は、「台湾 TPCA Show 2020」「韓国自動車技術産業展」に出展し、製品ならびに最新技術をご紹介いたしました。

≡ 各詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください ≡

<https://www.sansha.co.jp/>

企業情報



会社概要／ごあいさつ／経営理念
会社沿革／事業について
社名・ブランド／事業所一覧
私たちの強み



投資家情報



トップメッセージ／事業早わかり／中期経営計画
業績・財務／IRライブラリー／IRカレンダー
IRニュース／IR English／株式について／株価情報
コーポレート・ガバナンス／ディスクロージャーポリシー
電子公告／よくあるご質問



サステナビリティ



お客様とともに／お取引先様とともに
地球とともに／社会とともに
社員とともに



株式会社 三社電機製作所

〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路三丁目1番56号
TEL 06-6321-0321 FAX 06-6321-8621

